

(全体進行：教頭1)

1 校長挨拶

2 校内参観（PTA授業参観の様子を参観）

3 協議・交流 <(2)以降は運営協議会委員の意見を中心に記録>

(1)学校からの伝達内容（学校職員より）

- ①第1回学校運営協議会以降の御嵩小概要（校長）
- ②修学旅行、宿泊研修、校外学習などについて（教務主任）
- ③現在の子どもたちの健康面について（教頭2）
- ④現在の子どもたちの生活面について（生徒指導主事）
- ⑤前期学校評価について（教頭1）

(2)運営協議会委員より感想やご意見（進行：運営協議会会長）

①教育活動全般について

- ・コロナ禍時代と違って、多様な教育活動が行われていて驚いた。
- ・児童が生き生きとしている。地域や外部の専門家が講師として入ることで、楽しさも増している。
- ・5年生が宿泊研修を実施できてよかった。初めて家庭外で宿泊する児童もおり、保護者は心配しただろうが、安全面が配慮されていて安心できた。

②学習(授業参観)の様子について

- ・マスクを外して、笑顔で学習する姿がたくさんあった。自然体で学校生活を送れていることが分かった。
- ・どの学年でも、子ども達が楽しみながら真面目に授業に参加していた。
- ・教師が、子ども達に「発表」ではなく「プレゼン(テーション)」と説明している授業場面があった。これからの時代を生きていく子どもたちにとって、大切な指導だと思った。

③地域協働活動や他校種との連携等について

- ・地域と学校で協働していくことが増えていこう。運営協議会の在り方が大切になってくる。町内他校の実践を知るとよいので、町全体で交流をするとよいのではないかな。
- ・御嵩公民館文化祭に、御嵩小5・6年生児童8名がボランティアスタッフとして参加し、ゲームや綿菓子などを担当してくれた。不安からか、はじめは小さな声しか出せていなかったが、「ありがとう」の声が返ってくことで次第に声が大きくなり、「小さい子と接している内に、楽しさやよさが分かった。」「中学生になってもやってみよう」という思いをもつようになった。運営側として、小学生を募集するか迷ったが、子ども達の姿を見て、今は次年度も募集していきたいと思っている。
- ・幼稚園・保育園が、御嵩小学校と連携した活動を行えるようになった。園児は、1年生とのふれあいを楽しみにしている。御嵩小会場の小中拡大交流会には、園職員も積極的に参加していく。園では、子どもの主体性を大切にしている。御嵩小でも、今以上に子どもの主体性を大切にしていけるとよい。

④その他

- ・気象警報により、保護者引き渡し下校となった時、高齢の家族が教室のある階まで登るのが厳しい場合、どうしたらよいか？
⇒引き渡しのため出入りする保護者は、児童玄関を出入口としている。引き渡し下校時には、児童玄関に職員が控えているので、声をかけていただければ教室から対象児童を児童玄関まで下ろし対応する。
- ・何年前か前に、通学班の集合場所に時計がなく、かつ班長の家から離れている班には、通学班長に腕時計を配付したが、現在はどうなっているか？
⇒現在も、必要な通学班長に貸し出しをしている。

4 校長よりお礼の言葉